

1分で読みとくアメリカ

読得
目ミトク

No.7

世界の注目を集める米国シェール革命
～2013年にもサウジ・アメリカに！？～

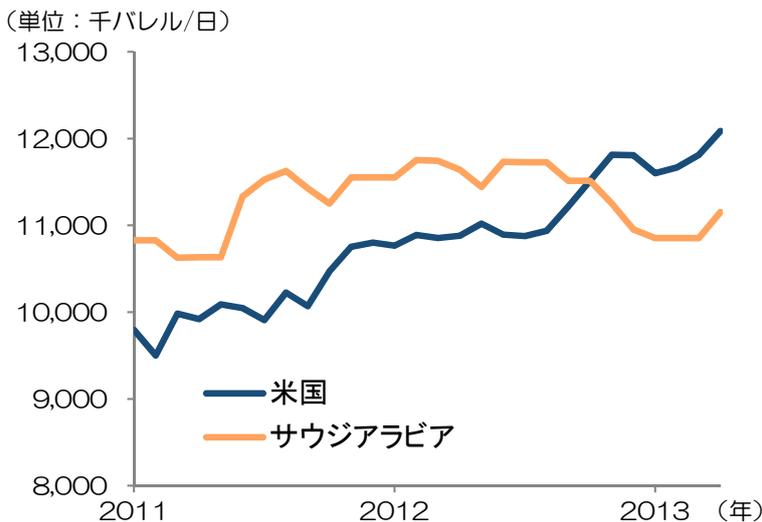
エネルギー生産量の増加を受け、今米国経済は「シェール革命」に沸いています。米国での原油生産量は、月次ベースでは2012年10月～2013年4月まで7カ月連続でサウジアラビアを上回りました。

国際エネルギー機関（IEA）によると、2020年頃までに米国がサウジアラビアを抜いて世界最大の産油国になると予測されていることは読得アメリカNo.1でも紹介しましたが、このままのペースでいくと2013年通年で米国がサウジアラビアを抜く可能性もあります。

足元、シェール革命が様々な産業に影響を及ぼしている中、特に注目を集めているのがパイプラインや貯蔵施設などの運営を行うエネルギー・インフラ企業です。原油生産量、輸送量の増加によって安定的かつ持続的な収益の拡大が期待されています。

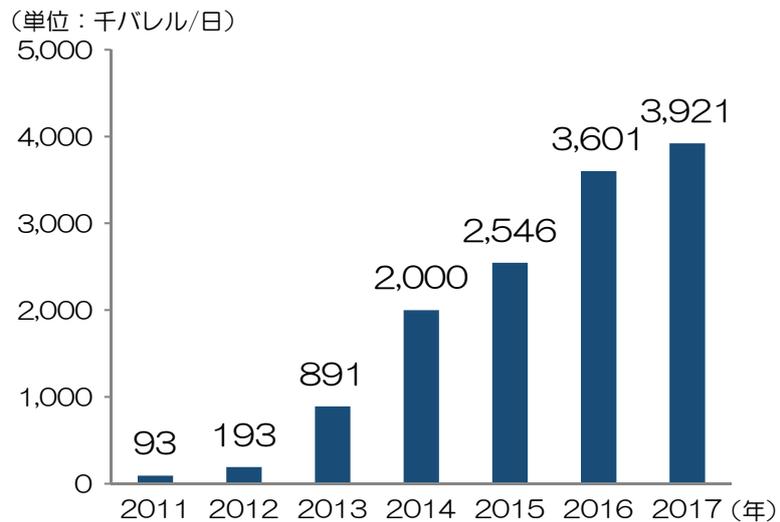
エネルギー自給率の向上は、経常収支の改善の他、エネルギーコストの低下を通じて原油精製や化学製品等を中心とした製造業の国内回帰にも繋がっており、米国経済へ追い風になると期待されています。

米国・サウジアラビアの原油生産量の推移(月次)



(出所) EIA (米エネルギー情報局) 期間: 2011年1月～2013年4月

米国*石油パイプライン輸送能力の推移(予想)



(出所) クレディスイス 期間: 2011年～2017年 (2012年以降は予想)

*米国Mid-Continent Oil Fieldにおけるパイプラインを集計

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。上記は経済や市場等の過去のデータおよび一時点における予測値であり、将来の動向を示唆あるいは保証するものではありません。本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された市場の見通し等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合があります。経済、市場等に関する予測は、高い不確実性を伴うものであり、大きく変動する可能性があります。弊社あるいは弊社グループ及び予測機関は、予測値の達成を保証するものではありません。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(Ⅰ)複製、写真複製、あるいはその他いかなる手段において複製すること、あるいは(Ⅱ)再配布することを禁じます。

<審査番号: 106562.OTHER.MED.OTU > © 2013 Goldman Sachs. All rights reserved.



Asset Management